

2014年 教育学部 第1問



1  $1 \leq n < m$  をみたす自然数の組を  $(m, n)$  と表し、これらを次の規則で順番に並べる。

- (i) 1 番目は組  $(2, 1)$  とする。  
 (ii)  $k$  番目が組  $(m, n)$  のとき、  
 $n < m - 1$  ならば、 $k + 1$  番目は組  $(m, n + 1)$  とし、  
 $n = m - 1$  ならば、 $k + 1$  番目は組  $(m + 1, 1)$  とする。

例えば、2 番目の組は  $(3, 1)$ 、3 番目の組は  $(3, 2)$ 、4 番目の組は  $(4, 1)$ 、5 番目の組は  $(4, 2)$  となる。次の問いに答えよ。

- (1) 20 番目の自然数の組を求めよ。  
 (2)  $m$  を 2 以上の自然数とすると、組  $(m, 1)$  は何番目かを答えよ。  
 (3)  $1 \leq n < m \leq 5$  をみたすすべての組  $(m, n)$  を考える。組  $(m, n)$  から分数  $\frac{n}{m}$  を作るとき、これらの分数の総和を求めよ。  
 (4)  $l$  を 2 以上の自然数とする。  $1 \leq n < m \leq l$  をみたすすべての組  $(m, n)$  から作る分数  $\frac{n}{m}$  の総和が  $\frac{4753}{2}$  であるとき、 $l$  の値を求めよ。

(1) 組  $(2, i)$  となるものは 1 個、 $(3, i)$  は 2 個、 $\dots$   $(m, i)$  は  $m - 1$  個 あり。  
 $1 + 2 + 3 + 4 + 5 = 15$  より、16 番目は  $(7, 1)$ 、17 番目は  $(7, 2)$ 、  
 18 番目は  $(7, 3)$ 、19 番目は  $(7, 4)$ 、20 番目は  $(7, 5)$  //

(2)  $\sum_{i=1}^{m-2} i = \frac{1}{2}(m-2)(m-1) \quad \therefore \frac{1}{2}(m-2)(m-1) + 1 = \frac{1}{2}m^2 - \frac{3}{2}m + 2$  番目  
 これは  $m = 2$  のときも成り立つ。

(3) 総和を  $S$  とおくと、 $S = \frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \frac{2}{3} + \frac{1}{4} + \frac{2}{4} + \frac{3}{4} + \frac{1}{5} + \frac{2}{5} + \frac{3}{5} + \frac{4}{5}$   
 $= 5$  //

(4) 分母が  $j$  ( $j \geq 2$ ) の分数の和は、 $\frac{\sum_{i=1}^{j-1} i}{j} = \frac{1}{2}(j-1)$  より、

$$\sum_{j=2}^l \frac{1}{2}(j-1) = \frac{4753}{2} \quad \therefore \frac{1}{2}l(l+1) - l = 4753$$

$$\therefore l^2 - l = 9506 \quad \therefore (l-98)(l+97) = 0$$

$$l > 0 \text{ より } \underline{l = 98} //$$